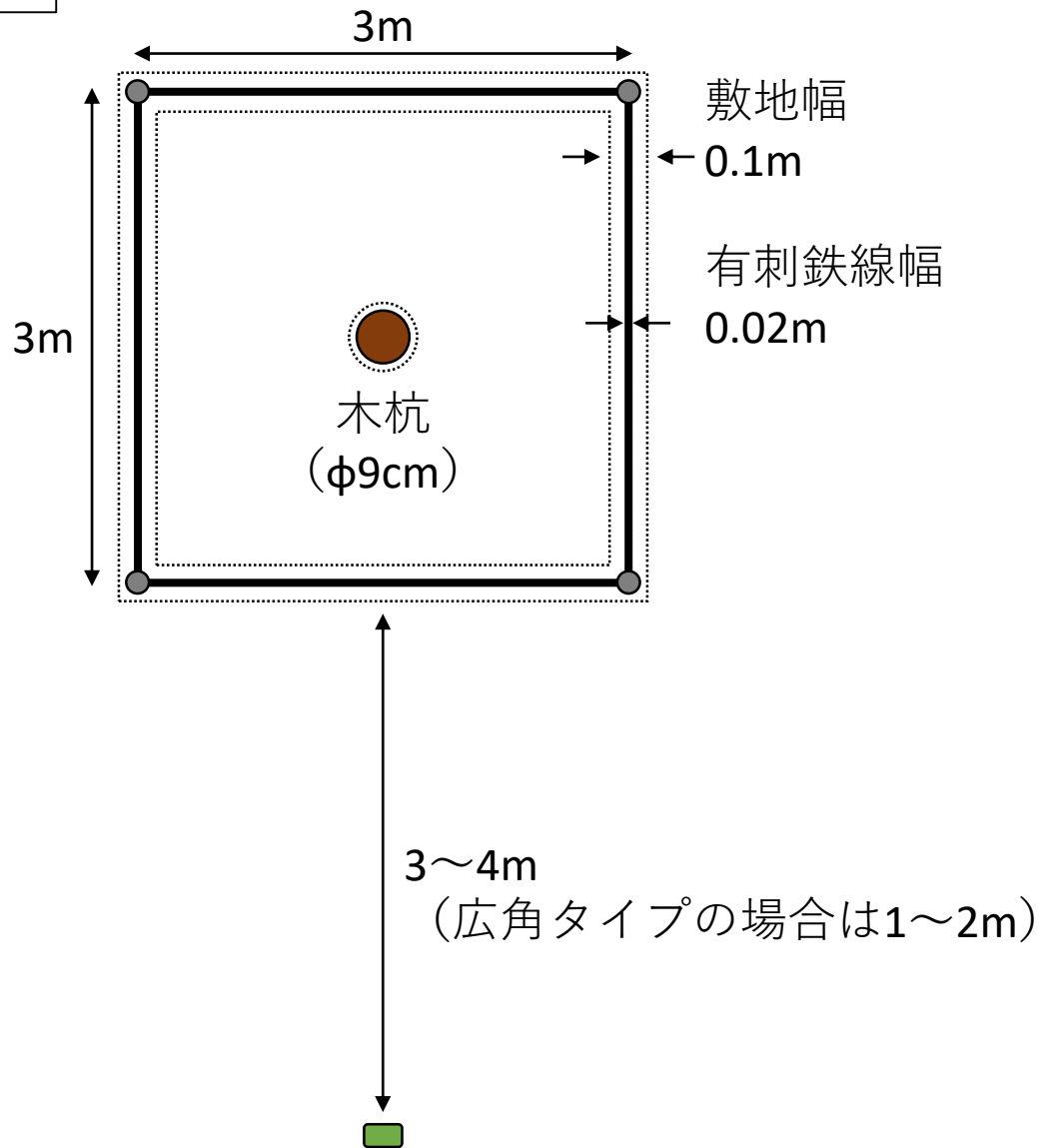


平面図



- 樹脂ポール ( $\phi 38\text{mm}$ )
- 自動撮影カメラ

図. 自動撮影カメラおよびフェンス型ヘア・トラップ設置模式図 (平面図)  
ヘア・トラップから数メートル離れたところに自動撮影カメラを設置して、トラップを訪れる個体を撮影する。自動撮影カメラは、ベルトを用いて立木に設置する。

立面図 1

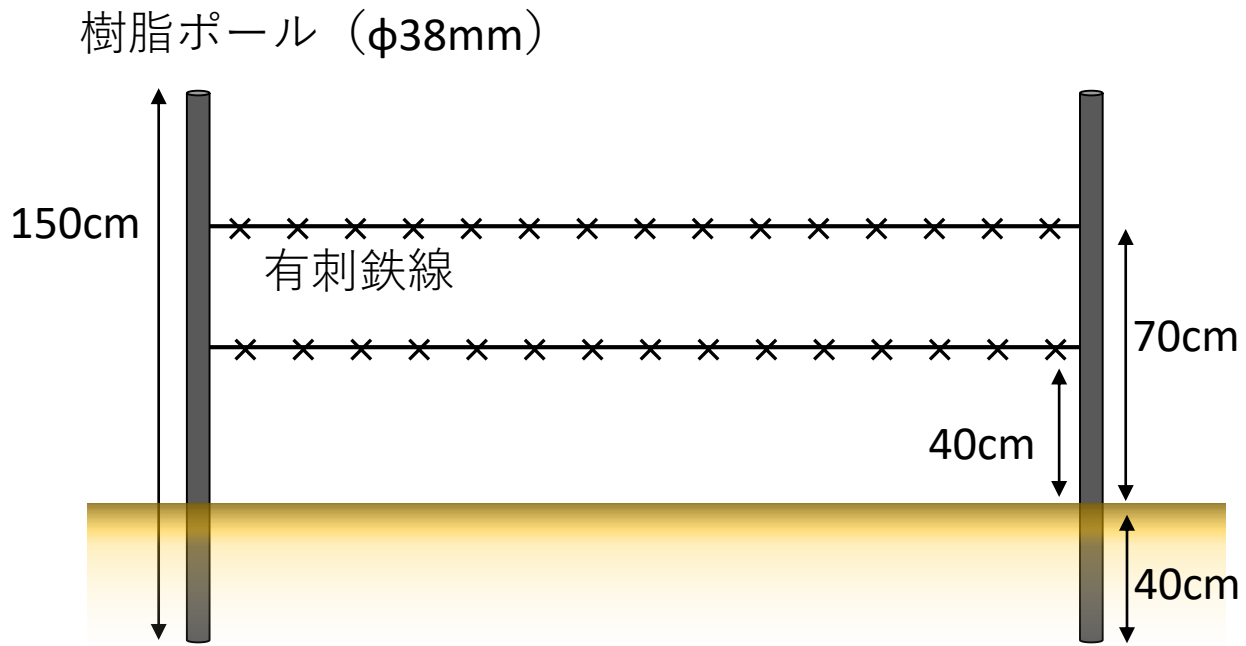


図. フェンス型ヘア・トラップ設置模式図 (立面図)  
(a) 有刺鉄線を地上高40cmおよび70cmの2段に設置する。有刺鉄線の設置には、樹脂製の支柱を使用する。支柱は、地面に40cm程度打ち込む。

立面図 2

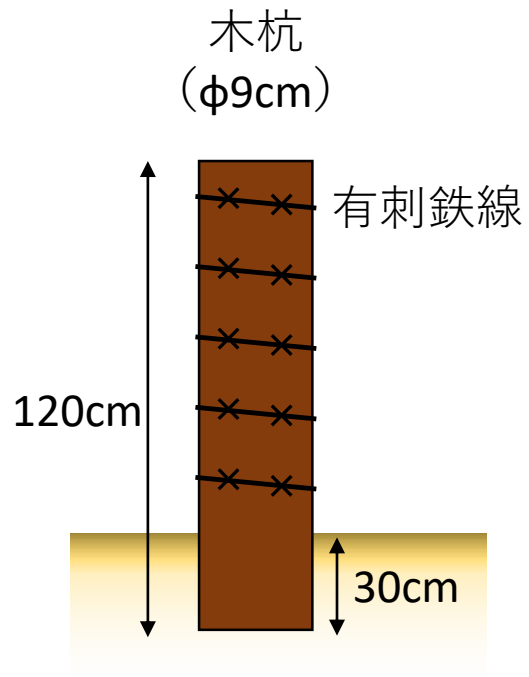


図. フェンス型ヘア・トラップ設置模式図 (立面図)  
(b) 木杭をフェンス型ヘア・トラップの内部に設置する。地上高約10cmから等間隔で80cm程度まで有刺鉄線を巻き付け、ヒグマが背中をこすることを期待する。杭には、近くを通ったクマが気づきやすくするためにクレオソートを塗布しておく。